

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：平成31年1月31日

事業所名 子どもサポート教室「きらり」大阪狭山金剛校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法遵守の確保をしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			現在、指導員数の確保ができています。近日中に指導員の減が見込まれているため、本部に指導員の確保をお願いしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		支援室は、シンプルな空間設定とし、利用者の活動に応じてパーティションを使って、快適な活動ができるように活動に応じた広さの確保をしています。玄関に入ってトイレに行くまでに低い段差が1つありますが、子どもがそこへ行く時はついていくなど、いつも注意をはらっています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			朝礼や会議で、目標設定、振り返りの機会を作っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表を元に、業務改善に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			当社HPにて公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価はしていませんが、常に業務改善に向けて努力をしています。今後、考えていかなければいけないと考えています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			新人研修、定例研修、また外部の研修にも積極的に参加できるようにしています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			普段の授業の中で、客観的なアセスメントができるように心がけています。指導員、保護者、相談支援事業所等担当者会議で意見を元に、個々の支援計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			共通のアセスメントシートを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		集団SST等の活動については、スタッフ全員で知恵を出し合って考えています。個

					別指導の活動プログラムについては、お互いによりよい支援のために、教材、指導法の共有・理解を目的に、常日頃から意見交換を欠かさないようにしています。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			スタッフ全員で、常に新しい教材の開発を心がけています。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇には宿題を優先したりして、利用者のニーズも考えて、課題を設定しています。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか		○		主に個別指導の為の指導計画を作成していますが、個別指導と平行して、集団SSTを企画して、個別指導での成果が集団SSTで生かせるように考えています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼を行い、その日の支援について、確認しています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		緊急また必要に応じて、その日のうちに振り返りをします。それ以外は、後日会議等で情報共有をしています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			常に客観的にアセスメントをし、その詳細を記録にとることを重視しています。記録を見るとその子のことがわかり、またそれが、モニタリング、支援計画の作成につながるようになっています。

	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			3ヶ月に一回、モニタリングをしています。今後は、6ヶ月に1回になります。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			主に「自立支援と日常生活の充実のための活動」「創作活動」と「余暇の提供」の中から組み合わせ支援をしています。今後、「地域交流の機会の提供」も計画していきます。
関係機関や保護者と	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理者と担当指導員が参画しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			必要に応じて、情報共有を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			今は、在籍者はいませんが、今後、必要な場合は、体制を整えます。

の連携関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			要望、必要に応じて、情報共有をしています。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			まだ、該当者はいませんが、必要に応じて体制を整えていきます。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			積極的に研修・助言を受ける体制を構築していきます。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	まだ、実施したことがありません。要望・必要に応じて、今後検討していきます。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			市の放デイ部会等にも、時間の許す限り、積極的に参加しています。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			毎回、支援終了後のフィードバックの時間の中で、利用者の課題について、共有・理解できるように努めています。
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			家族とともに協力して子どもを育てていくことを大切にしていきたいです。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明をしています。また、事業所内にも掲示しています。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			フィードバックの時間、電話、その他、随時、相談に応じて、ニーズに沿った支援を行えるように心がけています。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	要望があれば検討していきます。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があったときには、迅速に対応できるように、体制を整えています。
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			きりり通信、ブログ等を活用して、情報発信をしています。
	㉜	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の持ち出し禁止、個人情報の保管場所、施錠の徹底を図っています。

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚的に情報提供することを心がける等、個々に応じた効果的な情報伝達の方法を考え、配慮しています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	まだ、実施していません。今後、検討していきます。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		マニュアルを作成し、教室内に掲示しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		月1回、防災計画を作成し、防災訓練を実施しています。全員で振り返りをし、どんな緊急時でも適切な行動ができるように訓練をしています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		特別に虐待の研修はしていませんが、会議等の中で常日頃から話題にし、職員全員で気をつけています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		今は身体拘束の必要な利用者はいません。今後、必要な場合は、慎重に考慮し、契約時に十分な説明をした上で、支援計画に記載します。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時にアレルギーの有無を確認しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		報告書をファイリングして、事業所内に置き、みんなで共有しています。

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表：平成 31 年 1 月 31 日

事業所名 子どもサポート教室「きらり」大阪狭山金剛校 保護者等数（児童数 28 人 回収数 21 割合 75 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	0	1	・3人以上個別があるとき、少し狭く感じる。 ・また、声の響き具合が気になる。 ☆個々の活動に応じてスペースの確保をしています。今後、声、音のボリュームについては、留意していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	17	4	0	・先生が、全員個別指導に入って、受付に誰もいないのが気になる。 ☆休暇中の職員がいたりして、ご迷惑をおかけしています。今後、職員が配置され、保護者の方々にご迷惑をおかけしないようにしていきます。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	11	0	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	20	0	1	
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	21	0	0	・いつも、子どもが飽きないように、いろいろな工夫をして、興味を持って活動ができるようにして下さっている。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	13	7	☆今後、考えていきます。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	0	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	21	0	0	・スタッフの方は、とてもよく子どもを観察してくださっていて、子どもの話をしながら、私の話も聞いていただき、助けてもらっています。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	2	0	・振り返りの時間等に、たくさん助言をいただき、育児に生かさせていただいています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	13	7	☆要望があれば、考えていきます。

	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	7	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13	8	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	21	0	0	
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	2	0	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	8	0	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	21	0	0	・いつも、楽しみに通わせていただいています。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	21	0	0	

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。